



至誠の会
鷺山喜久

和岡原地内における登記誤りの対応は

Q 議会の不適切行政事務調査特別委員会は、登記誤りを正すために、松井市長自らが相手方に直接謝罪をするように、提言、まとめを行っていき、解決に向け、松井市長は行動したのか伺う。



和岡原地内ファームポンド貯水タンク

地権者に文書を郵送し、解決に向けた協力をお願いした

A 交渉内容に乖離があるため、地権者に直接謝罪は行っていませんが、文書を郵送し、解決に向けた協力をお願いしました。また、和岡原防除組合に対して

陳謝し、地権者との交渉を継続していく際の協力を依頼しました。さらに県に対して事業の継続要望を行いました。

(仮称)本村橋の見通しは

Q 平成17年頃、本村橋のことで地元では話が盛り上がった。その後、山口橋歩道橋工事が進み完成は近い。その上流には本村橋建設の要望がある。市の考え方と実現の見通しを伺う。

山口橋歩道橋完成後、地元住民と協議・検討していく

A 西山口小学校へ通う児童の安全な通学路を確保するため、まずは、山口橋歩道橋の新設を優先して実施しており、令和3年度には完成する予定です。本村橋の新設については、山口橋歩道橋完成後、課題や事業効果等をしっかり整理し、改めて地元の皆さんと協議・検討していきます。



アクティブ
マネジメント・
公明クラブ
藤澤恭子

UPZ圏内の掛川市における原子力防災の強化と体制のあり方は

Q 掛川市原子力災害広域避難計画が策定されたが、課題は多く、このままでは、もしもの時に、市民を災害や混乱から守り切れない。市民はもちろん、子どもたちを預かるすべての施設での原子力防災の避難訓練、備蓄の必要性を伺う。

防災教育・訓練の実施を推進し、備蓄の準備を働きかける

A 避難訓練の実施状況については、千浜小学校で原子力災害訓練を、一部の園で屋内退避訓練を実施しています。また、他の園・学校では、原子力災害対応マニュアルを作成し、災害時の対応確認を行っています。今後も園・学校・地域の実情に応じた防災教育・防災訓練の実

施を推進していきます。次に、備蓄については、コロナ対応に使用するマスクを考慮しています。その他、必要な備蓄は、各家庭での準備を働きかけていきます。

安定ヨウ素剤の事前配布の市長の考えは

Q 安定ヨウ素剤の事前配布の国、県への要望は進展があるのか、事前配布の市長の考えを伺う。

今後も粘り強く、事前配布について要請していく

A 原発の周辺4市で構成する協議会や県を通して、毎年度、国へ安定用ヨウ素剤の事前配布を要請しています。市独自の訓練検証により、緊急配布は困難と判断したため、今後も粘り強く、事前配布のエリア拡大や配布方法の変更を要請していきます。